

## パソコン教室の窓から (1)

NPO 法人コミュニティ NET ひたち  
久保 裕

### パソコンを楽しむ会で「暑中見舞いのハガキ作り」



▲授業をしている様子

関東地方は例年より20日以上も早く6月末には梅雨明けとなった。太平洋高気圧の勢力が強くなり気温も30度を超える真夏の陽気になっている。一方、西日本の九州や中国四国地方では梅雨前線が居座り活発で各地で大雨をもたらしている。この豪雨のため7月6日には広島県、岡山県や愛媛県など各地で河川の氾濫とともに土砂崩れが発生して多大の被害をもたらされている。被災地の方々には心からお見舞いを申し上げます。

JR多賀駅前が多賀農協のショップ2階にあるパソコン教室では7月9日(月)に「暑中見舞いのハガキ作り」の講座が開かれた。最近ではスマホやパソコンの普及で若い世代はメールやLINEなどによる情報交換が日常的になっている。また家族の写真、旅行先の絵ハガキ、趣味の絵手紙や水彩画でハガキを作ったりして楽しんでいる人もいます。お便りというのは多様化して、それぞれの趣(おもむき)があり個性があって、ときどき遠隔に住む親しい人と短い文章でも添えて日常の出来事を取り交わすことは楽しいことだ。パソコンの機能は大いに進化していて機能も豊富になり使いやすくなっている。私たちのパソコン教室には平均年齢70歳の会員が集っている。

「暑中見舞いのハガキ作り」は女性講師による2か月に一回開催される「パソコンを楽しむ会」の今回のテーマ。パソコンの文章作成アプリ「ワード」の図形描写機能で、海を泳ぐ小さな魚スイミーで涼しさを表現した絵葉書を作った。

背景色は水色のグラデーションで塗り、右側上は白くしてメモを書けるようにスペースをつくる。魚の形は楕円形とブロック矢印を組み合わせ作り、3つの色で塗り分けて大きさは拡大縮小して海の中を泳ぐように向きを変える。上っていく泡は一つ一つ水色に右下側から斜めにグラデーションを付けて上方から光が当たっている丸い立体感と涼しさを表している。



▲完成した暑中ハガキ